

まちの話題

各地でどんどや

小正月である1月15日前後、町内各地で正月の伝統行事であるどんどやが行われました。通潤橋前で1月14日に行われたのは、浜A自治振興会（松岡昭二



会長）主催のどんどや。役員の方々がその準備に2日かけたという大きなどんどやは、午後1時に火がつけられると、たちまち勢いよく燃え上がり、竹の「パンツ」とはじける音が周囲に響き渡りました。会場では浜A地区婦人部「ミドルレディース」によるぜんざいやかつぼ酒などが振る舞われ、正月のしめ飾りを持って訪れた地域の方々や、さらには通潤橋を見にきた観光客の方々も温かいもてなしを受けていました。

おいしい米はいかがですか？

清和小学校では、県教育委員会から「環境教育研究推進校」の指定を受けて教育研究が進められています。同小5年生16人は「食」をテーマにアイガモ農法の米の栽培に取り組みました。12月16日、その収穫した米20kgの販売を道の駅清和文楽邑物産館で体験しました。自分たちでデザインした袋に500gずつ入った安心安全な米を、「おいしい米はいかがですか〜！」と訪れた観光客にPRしていました。



清和小5年生のみなさん

御岳小でもちつき大会

12月16日、御岳小学校で、児童が楽しみにしていたもちつき大会が開催されました。春から稲作体験を行ってきた児童は、その最後の作業であるもちつきを、保護者や地域の方々と一緒に体験しました。収穫したもち米30kgを使い、昔ながらの石うすときねで丁寧についたもちちは、学校の給食用や鏡餅用など約150個になりました。また、つきたてのもちをみんな味わいました。



もちつきは大変です。

たくさんの「愛」集まりました

山都町老人クラブ連合会蘇陽支部（下田澄雄支部長）から、今年も社会福祉協議会（甲斐利幸会長）へ「愛の1円玉募金」が贈呈されました。同支部が4月から12月の間、竹筒や牛乳パックなどを加工した募金箱を各世帯に配布し、募金を呼びかけているもので、今年で17年目を迎えました。今年は294、304円の募金が集まり、12月21日、山都町社会福祉協議会蘇陽支部で、下田支部長から甲斐会長に目録が贈られました。



甲斐会長へ募金目録を贈呈する下田支部長（左）

田小野 収納祭

12月23日、田小野公民館（野口洋一分館長）主催で「田小野収納祭」が行われました。地元で採れたもち米30kgを使ったもちつきは、田小野地区の小学生と保育園児約15人、そして地域の方々が交代でつきました。また、地区老人会によるしめ縄づくりと役員による門松づくりも行われ、公民館に新年を迎える準備が整っていきます。午後には子ども会からの出し物などの忘年会とクリスマス会も行われました。



おいしいもちが出来上がりました。

学童 保育 映画会

12月27日、潤徳小学校の学童保育「どんぐり楽校」の映画会が町立図書館で行われました。今回子どもたちの輪が広がればと、町内の学童保育クラブへ参加を呼びかけたところ、御岳小と蘇陽小の学童保育クラブから参加があり、保護者などを含め約50人が映画「少年マイロ火星冒険」を楽しみました。参加者には「どんぐり楽校」の子どもたちから特製しおりがプレゼントされました。夏に同様のイベントが企画されるそうです。



会の進行はどんぐり楽校の子どもたち

下名連石ふれあい祭り

今年で19回目を迎えた「下名連石新春ふれあい祭り」（下名連石自治振興区主催）が1月9日に開催されました。会場となった旧下名連石小には、地区内のたくさんの方々が集まり、新年のあいさつなどを交わしていました。祭りでは、青壮年部の獅子舞や新婚さん紹介などのほか、恒例となった年男・年女が扮した七福神の豆まきが行われ、七福神がまいた「福豆」で福をもらおうと、会場内はおおきに盛り上がりつつありました。



七福神がみんなに福をおすそ分け

通潤山荘に竜の絵馬

12月21日、男成神社から通潤山荘に「絵馬」が寄贈されました。絵馬には今年のえとである竜が力強く描かれています。男成神社では、8年前からその年のえとを描いた絵馬を通潤山荘に毎年寄贈していて、昨年からは町社会教育指導員の伊藤一善さんに制作を依頼しています。贈られた絵馬は通潤山荘玄関に飾られています。



絵馬と関係者の方々

野口さん、ふるさとの論文で博士号

野口慎吾さん（白小野）が、熊本県立大学大学院卒業後、自分の生まれ育った山都町を研究対象とした「住民の主体的行動と農村集落における空間管理システム」という論文をとりまとめ、博士号を取得しました。その記念講演会が12月11日、本さつまやで行われ、たくさんの来場者を前に、論文について講演しました。



野口慎吾さん

大山謙一郎さんギャラリー開設

1月10日、北中島出身の写真家、大山謙一郎さんのギャラリーが、大矢野原演習場そばに開設されました。ギャラリーには、山都町や熊本市、東日本大震災の被災地で撮られた写真など1年前から撮った作品約150点が展示されました。大山さんは、「山都町だからできる新しい情報を発信していきたい」と話してくれました。



大山謙一郎さん

千寿苑にしめ縄

12月26日、渡邊盛芳さん（北中島）から、矢部保健福祉センター千寿苑にしめ縄が寄贈されました。寄贈のきっかけは、渡邊さんが、社会福祉協議会の子どもデイサービスで、しめ縄作りの講師を務めたことでした。力強い大きなしめ縄が玄関に飾られ、豪華に新年を迎えた千寿苑でした。



渡邊盛芳さんとしめ縄